

1. 職名・氏名 教授・黒田祐二

2. 学位 博士（心理学）、専門分野 心理学、授与機関 筑波大学、授与年月 2003年3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
① 担当科目名	生徒・進路指導論（2単位） 1～4年生 （2017～2019年度）
② 内容・ねらい	生徒・進路指導を進めるために必要な視点、知識、方法を身につけることがねらいであった。児童期から青年期までの生徒・進路指導上の問題についての具体例から、指導の進め方について学生自身が考えられるようにした。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫	<p>生徒進路指導論の講義では、基本的な知識を身につけると同時に、指導の進め方について理解するなど実践的な学びが必要である。また、教員の話しを一方向的に聞くだけでは学生の主体的な学習につながらないと考えられる。このような考えに基づき、以下の工夫を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な例を提示し、生徒・進路指導の進め方について学生が自ら考えると同時に、グループディスカッションにおいて学生同士で考えを発表させた。 ・ディスカッションの結果を踏まえて、教員が指導方法について講義を行った。 ・基本的な知識を教授する際は、学生が理解しやすいように視聴覚教材を適宜用いた。 ・講義の重要ポイントを理解し、知識の定着を図るために、穴埋め式の講義ノートを配布した。 <p>また、授業14回分のリアクションペーパーを1枚の用紙にして、学生が書いた疑問点や感想にコメントをつけて返却するようにした。これにより、学生と双方向のやりとりをするよう努めた。</p>
① 担当科目名	教育心理学（2単位） 1～3年生 （2017～2019年度）
② 内容・ねらい	学習と発達に関する教育心理学の考え方や知識を身につけ、それらを教育現場に応用できるようにすることをねらいとした。また、「意欲の低下」や「学力の低下」など教育現場で問題となっている現象を取り上げ、教育心理学の立場からその原因や対応について講義した。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・教職課程の講義であることを踏まえ、知識偏重になるのを避け、事例や学校での指導例を提示し、教育実践に応用できるようにした。 ・学習意欲や無気力、学力や児童生徒評価の問題など、教育現場において問題となっている事柄について取り上げた。 ・学生の理解がはかどるように、視聴覚教材を適宜用いた。 ・講義の重要ポイントを理解し、知識の定着を図るために、穴埋め式の講義ノートを配布した。 ・授業14回分のリアクションペーパーを1枚の用紙にして、学生が書いた疑問点や感想にコメントをつけて返却するようにした。これにより、学生と双方向のやりとりをするよう努めた。
① 担当科目名	導入ゼミ（1単位） 1年生 （2017～2019年度）
② 内容・ねらい	大学での学習・研究に必要とされる、文献の探し方、レポートの作成方法、プレゼンテーションの方法、批判的思考力を身につけることをねらいとした。「ストレスと心の健康」を題材として、各自が興味をもったトピックに関して文献を調べ、成果をまとめたり、ディベートをしたりする中で、上記のスキルの習

得を目指した。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

ストレスと心の健康に関して学生自身が興味をもったテーマの中で、文献の収集・まとめ・発表の作業を行わせた。文献の探し方、レポートの作成方法、プレゼンテーションの方法、批判的思考力を、体験的に身につけられるように、自分のテーマに関連する文献を自分で図書館やインターネットを使って探す、レポートの良い例と悪い例を提示して学生に分析させる、自分で調べたことをパワーポイントで発表する、学生同士でディベートを行う、などの工夫を行った。また、少人数であることを活かし、授業の中で個別的な指導を行うなどの工夫を行った。

① 担当科目名

教育相談（2単位） 1～4年生 （2017～2019年度）

② 内容・ねらい

不適応を起こしている児童・生徒を援助するために必要な考え方や方法を身につけることをねらいとした。具体的には、児童・生徒の心の問題の性質や背景、それらを理解するための視点や方法、問題や悩みを抱えている児童生徒への援助の仕方を、事例を用いた演習やロールプレイなどの実習を通して体験的に身につけることをねらいとした。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

教職課程における教育相談の講義であることを踏まえ、以下の工夫を行った。

- ・「教員の話を一方向的に聞いて、知識を蓄積する」という知識中心の受動的な学習だけでなく、実際の児童生徒の事例を提示し、その事例をどう理解し、その児童生徒にどう援助するかを学生自身に考えさせた。また、学生が考えたことをお互いに発表してディスカッションさせた。
- ・ディスカッション後に教員がまとめの講義を行った。
- ・カウンセリングのスキルを、ロールプレイにより体験的に学ばせた。
- ・知識面の教授の際には、視聴覚的教材を適宜用いたり、穴埋め式の講義ノートを配布したりすることで学生の理解が深まるようにした。

また、授業14回分のリアクションペーパーを1枚の用紙にして、学生が書いた疑問点や感想にコメントをつけて返却するようにした。これにより、学生と双方向のやりとりができるようにした。

① 担当科目名

学術ゼミ（臨床心理）（2単位） 2年生～4年生 （2017～2019年度）

② 内容・ねらい

臨床心理学におけるテーマ（「ストレス」や「意欲」など）について、心理学の立場から説明した理論や研究成果について専門的な知識を身につけることをねらいとした。学習の形態は、文献講読とその発表及びディスカッションのみならず、学生にミニ研究（テーマ設定とデータの収集・分析・まとめ）を行わせ、その指導を通して上記のねらいを達成できるようにした。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

学習内容を文献のまとめと発表によって理解するよりも、テーマについて自分なりに考え、考えたことを調べてみるという作業を行った方が、より理解や関心が深まると考え、ミニ研究を行った。ミニ研究では、学生自身にテーマや研究方法を考えさせ、それが研究の形になるように教員が指導した。

① 担当科目名

教職実践演習（2単位） 4年生 （2017～2019年度）

② 内容・ねらい

以下の2つをねらいとした演習である。1. 教師としての力量と資質が4年間の学習を通して身についたかどうかを確認すること、2. 教師になるための課題を各自が見つけ、その課題を解決することで教師としての力量と資質を向上させること

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

教科指導、生徒理解・指導、学級運営など教師としての力量や資質が問われる場면을複数取り上

げ、それぞれの場面で演習と実習を行った。学生が自らの力をふり返ったりより深めたりできるように、毎回グループ討議と発表、それに対する教員からのコメントと指導を行った。

① 担当科目名

養護実習（5単位） 3～4年生 （2017～2019年度）

② 内容・ねらい

養護実習は、事前指導、実習、事後指導で構成される科目である。事前指導では、学生の実習への準備や心構えを促し、実習に必要な知識や方法を身につけたりすることをねらいとした。事後指導では、実習での体験を基に養護教諭の役割や養護教諭に必要とされることを明らかにすることを目的とした。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

事前指導では、児童生徒指導の実践的な内容を講義することで、実習で必要となる子どもとの関わり方について実際的な学習ができるように工夫した。また、先輩学生の実習アンケートの結果をもとにして、実習の注意点や心構えについて講義した。事後指導においては、学生をグループ分けし、各グループにおいて実習で学んだことを KJ 法によりリストアップした後に整理し、養護教諭に必要とされることを概念化するワークを取り入れた。

① 担当科目名

研究の世界（2単位） 1～4年生 （2018～2019年度）

* オムニバスの講義で「心理学の研究の世界」の回を担当

② 内容・ねらい

本講義は、学術教養センターの教員が研究内容を紹介するオムニバス形式の講義である。本講義のねらいは、学生に「大学で学ぶとは何か」を考える機会を提供し、その中で、学生が自ら主体的に物事を考える力や学ぶ方法を身につけられるようにすること、また、幅の広い教養にたった社会的判断力を涵養できるようにすることであった。このねらいに沿って、報告者は自らの専門である心理学の研究について講義を行った。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

受講学生は心理学の初心者であるため、身近な具体例や視覚的情報を用いて、講義がわかりやすくなるように工夫した。また、心理学の中で行われてきた研究や報告者の研究内容を紹介する中で、疑問や問題意識をもつことの大切さや、大学での学びは研究活動と似ており本来面白いものであることを伝えようと試みた。

(2)非常勤講師担当科目

① 担当科目名

生徒進路指導論（2単位） 仁愛大学 （2017～2019年度）

② 内容・ねらい

本学の「生徒・進路指導論」（前述）と同様である。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

本学の「生徒・進路指導論」（前述）と同様である。

④ 本学における業務との関連性

本講義は本学の生徒進路指導論の授業内容と同じ講義であり、本講義で扱う内容は報告者の専門分野である。

① 担当科目名

生徒指導論（2単位） 仁愛大学 （2017～2019年度）

② 内容・ねらい

生徒指導を進めるために必要な視点と方法を身につけることをねらいとした。同時に、児童期から青年期までの諸問題について各種の事例に接し、実践的な対応法や指導の進め方を学ぶことをねらいとした。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 本講義では、基礎知識をしっかりと講義すると同時に、教育現場における実際の児童生徒の問題事例を提示し、その児童生徒の理解と対応について学生自身が考える、考えたことをグループでディスカッションするなどの工夫を行った。
④ 本学における業務との関連性 本講義は本学の生徒進路指導論や教育相談の授業内容と強く関係する講義であり、本講義で扱う内容は報告者の専門分野である。
(3)その他の教育活動
①教職サークル（メンバーは教員採用試験受験予定者）の運営・指導（2017～2019年）
②教員採用試験を目指す学生への小論文と集団討論の指導（2017～2019年）

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
①論文 Kuroda, Y. (2017) The relationship between perceived parenting, negative core beliefs, and dysfunctional attitudes among young adults. <i>Journal of Psychology</i> , 151, 739-751.
②著書
③学会報告等
④その他の公表実績 黒田祐二 (2017) やる気を引き出すのにお金や品物をあげることの是非 児童心理 6月号, 76-80.
(2)学会活動等
学会でのコメンテーター、司会活動
学会での役職など
2017年度 学会誌の論文査読（日本心理学会刊行誌 <i>Japanese Psychological Research</i> 論文査読）
2018年度 学会誌の論文査読（日本心理学会刊行誌「心理学研究」論文査読）
学会・分科会の開催運営
(3)研究会活動等
① その他の研究活動参加 ・健康長寿に関する研究チーム（福井県立大学学部横断的な組織）での活動 2017～2018年度
② その活動による成果
(4)外部資金・競争的資金獲得実績
2017～2018年度 科学研究費補助金萌芽研究 研究分担者（研究代表者：山川修）
(5)特許出願

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
①国・地方公共団体等の委員会・審議会 ・敦賀市教育委員会自己点検外部委員：自己点検に対する外部知見の提供（2017～2019年度） ・敦賀市奨学生選考委員会委員：奨学生の選考（2017～2019年度）

②国・地方公共団体等の調査受託等
<ul style="list-style-type: none"> ・福井県教育庁特別支援教育総合推進事業奥越地区専門家チーム会：奥越地区の小中学校の特別支援教育に関する助言・指導（2017年度） ・福井県教育庁特別支援教育総合推進事業永平寺地区専門家チーム会：奥越地区小中学校での特別支援教育に関する助言・指導（2017年度） ・福井県永平寺町教育委員会いじめ・不登校サポート会議：永平寺町内の小中学校におけるいじめ・不登校対策に関する助言・指導（2017～2019年度） ・文部科学省教員免許状更新講習の講師（2017～2019年度）
③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
⑥その他
<ul style="list-style-type: none"> ・福井県特別支援教育センター教育相談会カウンセラー（2017～2019年度） ・勝山市役所市民向け健康講座講師（2019年度） ・面会交流支援センター福井相談員（2017～2019年度）
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
① 公開講座・オープンカレッジの開講
② 社会人・高校生向けの講座
③ その他
福井県立大学心理教育福祉相談室カウンセラー(2017～2019年度)
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等）

6. 大学の管理・運営

(1)役職（副学長、部局長、学科長）
(2)委員会・チーム活動
<ul style="list-style-type: none"> ・教職課程部会委員（2017～2019年度） ・ハラスメント等人権問題委員会委員（2017～2019年度） ・保健管理センター運営委員会委員（2017～2019年度） ・学術教養センター内教務・カリキュラム委員会委員（2017～2019年度） ・研究等における人権擁護・倫理委員会ワーキング・グループ委員（2019年度）
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など
①『福井県立大学論集』論文査読（2019年）
②教職サークル（メンバーは教員採用試験受験予定者）の運営・指導（2017～2019年）
③教員採用試験を目指す学生への小論文と集団討論の指導（2017～2019年）